

## 監督、選手を生インタビュー！

11月25日のトヨタガズーレーシングフェスティバルにて、スーパーGTでご活躍されている伊藤大輔監督と新田守男選手、中山雄一選手に話をお聞きました。

まずは、au TOM'S LC500の監督を務めている伊藤監督です。

伊藤監督は、子供の頃からナイジェルマンセル選手の走り方に憧れていたそうです。実際に、以前選手としてもスーパーGTでご活躍されており、2007年にはGT500シリーズタイトルを獲得されています。



伊藤監督のオススメの車は、カローラスポーツ。スタイルが気に入っていてお勧めの車なんだそう。現在、トヨタカローラ宮城のカローラスポーツの商業にも出演されているそうです。

伊藤監督がもっとも悔しい思いをしたレースは、トップを走っていたレースの終盤にエンジンがストップしてリタイアしたことだそうです。この経験により、レースの難しさを学び、今に活かされているそうです。



次に、K-tunes RC F GT3のドライバーである新田選手と中山選手に実際のレース運びに関する話を聞きました。両選手によると、レースの前に6種類のタイヤをコースに合うかどうかチェックをして、タイヤの使い分けを決定しているそうです。レース車両は、派手な外観や大きなウイング、幅の広いタイヤなど、一般車にはないような改造がされているので、8000万円程度の価格がかかっているそうです。車内の装備

については、多くの色とりどりのスイッチが付いており、通信設備やピット内での速度制限機能も装備されているとのこと。

今回、第一線でご活躍されている伊藤監督、新田選手および中山選手にGTレースの難しさについて話をお聞きしました。今回記者体験は初めてでしたが、レースでお忙しい中でも優しく接していただき、より親しみを感じました。

これからも益々のご活躍を期待しています。

記者：5年 オクイリクト